

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記

令和2年度病害虫発生予報第8号(11月)

担当 環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085
内線 471
ファックス 0561-63-7820

令和2年度病害虫発生予報第8号(11月)

令和2年11月2日
愛知県

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±

・留意事項

カキ及びカンキツで果樹カメムシ類の発生が見られるほ場では、収穫前日数に注意して防除しましょう。

10月下旬の巡回調査において、カキの角斑落葉病の発生量が多い状況です。罹病落葉は次作の伝染源となるため、落葉を園外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	軟腐病	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はほぼ平年並	－ ±
	べと病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量はほぼ平年並	＋ ±
	アブラムシ類	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	コナガ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 11月の気温は平年並か高い	± ± ±～＋
キャベツ	黒腐病	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はほぼ平年並	－ ±
	菌核病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量はほぼ平年並	± ±
	コナガ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 11月の気温は平年並か高い	± ± ±～＋
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	黄化葉巻病	多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い 10月下旬のコナジラミ類の発生量はやや多い	＋ ＋
	コナジラミ類	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の気温は平年並か高い	＋ ±～＋

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナス (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量は少ない 11月の気温は平年並か高い	－ ±～＋
キュウリ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	べと病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の気温は平年並か高い	± ±～＋
イチゴ (施設)	うどんこ病	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない	－
	ハダニ類	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量は少ない 11月の気温は平年並か高い	－ ±～＋
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	± ＋
	オオタバコガ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	－ ＋

・防除対策

[ハクサイ・べと病]

収穫前日数に注意してランマンフロアブルやダコニール1000などで防除しましょう。

[ハクサイ、キャベツ・コナガ]

収穫前日数に注意してアフーム乳剤やトアローフロアブルCTなどで防除しましょう。

[トマト(施設)・黄化葉巻病、コナジラミ類]

本日発表の「コナジラミ類情報第1号(トマト)」を参照してください。

[キュウリ・ミナミキイロアザミウマ]

アグリメックやコテツフロアブルなどで防除しましょう。

〔野菜共通・ハスモンヨトウ〕

卵塊や、卵からふ化したばかりで集団になっている幼虫を見つけたら取り除きましょう。ハクサイ、キャベツは9月16日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」及び10月16日発表の「ハスモンヨトウ情報第3号」を参考にしてください。

・留意事項

虫媒伝染性ウイルス病のトマト黄化葉巻病（TYLCV）やトマト黄化病（ToCV）、キュウリ黄化えそ病（MYSV）が発生しているほ場では、発病株を抜き取り適切に処分するとともに、媒介虫（トマト黄化葉巻病はタバココナジラミ、トマト黄化病はコナジラミ類、キュウリ黄化えそ病はミナミキイロアザミウマ）の防除を徹底しましょう。

イチゴ炭疽病の発生量はやや多い状況です。発病株や隣接する株は速やかに抜き取って、ほ場外に持ち出し、適切に処分しましょう。イチゴのハダニ類は多発すると防除が難しくなるので、発生を確認したら、速やかに系統の異なる薬剤でローテーション防除しましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台10月29日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、高い確率50%です。

3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：20% 平年並：40% 高い：40%

〔降水量〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：30% 平年並：30% 多い：40%

「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。